

～今月のテーマ～

# 冬の使者

National  
Parks  
of Japan



利尻礼文  
サロベツ  
国立公園  
だより

—その自然には、物語がある—

2022/2 Vol.14

## 利尻島 孤高の旅人

吹雪の中、背中を向けて、遙か遠く、どこまでも続く海の向こうをのぞむオオワシに出会いました。どこか物憂げな後ろ姿に見惚れていると、頭上高く飛び上がり、勇ましい姿で利尻山の方へ旅立って行きました。

撮影・文：黒田芳人  
(国立公園管理官)



## 礼文島 冬のメノウ浜

メノウ拾いと夕陽のスポットの礼文島西の元地海岸メノウ浜。今年の冬は雪が多くメノウ拾いは雪解けまでお預けですが、雪景色の中、太陽が海に沈む光景は絶景です！あと1時間(16:00頃) もすれば真っ白い雪が赤く染まりますので是非、見に来て下さい！

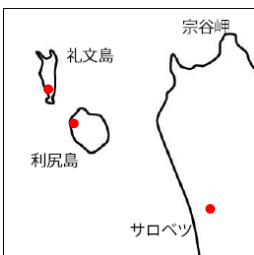
撮影・文：橋本恵市 (国立公園利用企画官)



## サロベツ 果て無き雪原

冬のサロベツ原野は雪に覆われ一面真っ白い雪原へと変化します。まさにサロベツの雄大さを感じる、どこまでも続く風景です。また、足下を見ると無数の小さな足跡があります。いったい何の足跡なのでしょう？

撮影・文：福井翔太 (サロベツアクティブレンジャー)



—今回の撮影場所(撮影日)—

- 【利尻島】 杓形岬  
鶴泊港フェリーターミナルから車で20分(2022.1.7)
- 【礼文島】 元地海岸  
香深港フェリーターミナルから車で10分(2022.1.25)
- 【サロベツ】 旧原生花園  
JR豊富駅から車で15分(2022.1.26)

### 「利尻礼文サロベツ国立公園だより」とは

日本最北の国立公園には公園管理を行うスタッフが5名、利尻島・礼文島・サロベツの各地域で働いています。そんなスタッフが季節ごとのとっておきを皆様にお届けします。

発行：環境省 稚内自然保護官事務所